

第4章の施策のうち、次の項目を「重点プロジェクト」として重点的に取り組みます。

プロジェクト1 【ぶちエコやまぐち3R県民運動の推進】

- ◆ プラスチックごみ削減の推進
- ◆ 山口県食品ロス削減推進計画に基づく取組の推進
- ◆ 多様な分野での3R県民運動の推進

プロジェクト2 【次世代を担う資源循環型産業の強化】

- ◆ 地域特性を活かした地域循環圏の構築
- ◆ 資源循環型産業の育成支援
- ◆ エコ・ファクトリーやリサイクル製品の認定拡大

プロジェクト3 【廃棄物の適正処理の推進】

- ◆ 排出事業者責任の徹底
- ◆ PCB廃棄物の適正処理の促進
- ◆ 優良産廃処理業者の育成支援
- ◆ 不適正処理監視体制の強化
- ◆ 公共関与による広域処理体制の推進

プロジェクト4 【海洋ごみ対策の充実強化】

- ◆ 多様な主体による回収・処理の促進
- ◆ 内陸から沿岸に渡る流域圏の多様な主体と連携した発生抑制対策の推進
- ◆ 推進体制の運営

プロジェクト1 ぶちエコやまぐち3R県民運動の推進

県民、事業者、関係団体、行政等が連携・協働して、廃棄物の3Rに関する県民総参加の機運を醸成し、ごみの減量化や循環利用等を促進します。

1 具体的な取組

◆プラスチックごみ削減の推進

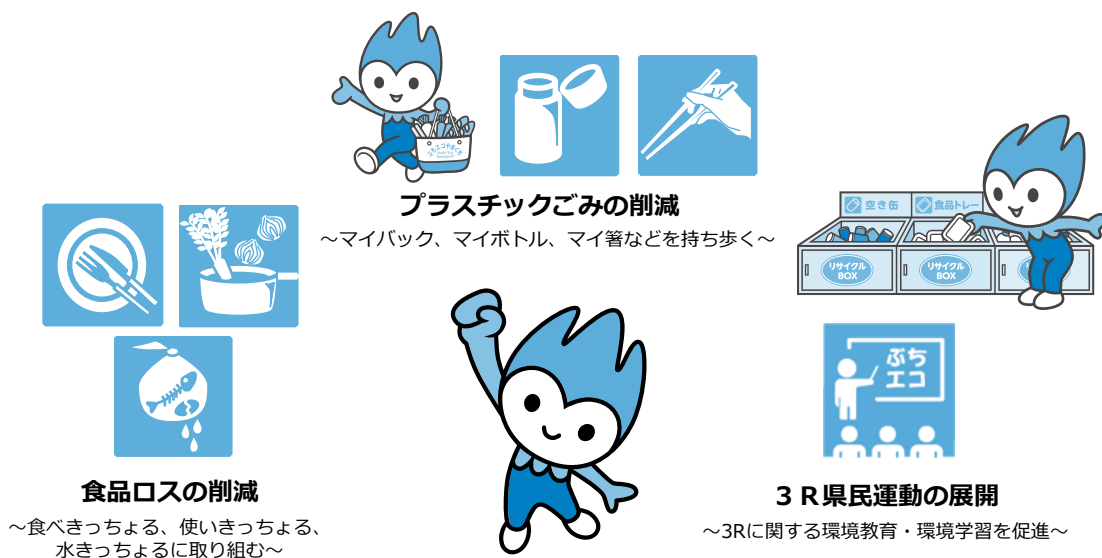
- ・「マイバッグ持参運動」に加え、マイボトル・マイ箸等の活用を推奨し、ワンウェイプラスチックの削減を推進
- ・海洋プラスチック問題等を踏まえ、プラスチックごみ削減の普及啓発を実施

◆山口県食品ロス削減推進計画に基づく取組の推進

- ・「食べきりこぼし運動」に「使いきりこぼし運動」、「水きりこぼし運動」を加えた「やまぐち3きりこぼし運動」の取組を推進
- ・未利用食品を寄贈しやすい環境整備等により、フードバンク活動の拡大・定着を推進

◆多様な分野での3R県民運動の推進

- ・資源ごみ（食品トレー、ペットボトルなど）の分別徹底や回収場所の周知
- ・地球温暖化にも配慮し、廃棄物の3Rに関する環境学習・環境教育を促進



ぶちエコやまぐち3R県民運動の推進

2 関連する主な目標・取組指標

名称	現状 (H30)	目標 (R7)
一般廃棄物の総排出量	499千トン	424千トン
一般廃棄物のリサイクル率	30.6%	35%
一般廃棄物の最終処分量	26千トン	22千トン
1人1日当たりの家庭排出ごみ量	527g/人・日	462g/人・日
1人1日当たりの家庭排出プラスチックごみ量	35g/人・日*	20g/人・日
資源ごみ店頭回収量（食品トレー等）	1,619トン	2,000トン
やまぐち食べきり協力店 店舗数	325店舗*	420店舗

※) R元年度実績

プロジェクト2 次世代を担う資源循環型産業の強化

廃棄物の3Rに関する事業者の取組について、地域特性を活かした地域循環圏の構築を目指し、技術開発から製品認定・普及までの各段階で、切れ目ない支援を行い、次世代を担う資源循環型産業の育成強化を図ります。

1 具体的な取組

◆地域特性を活かした地域循環圏の構築

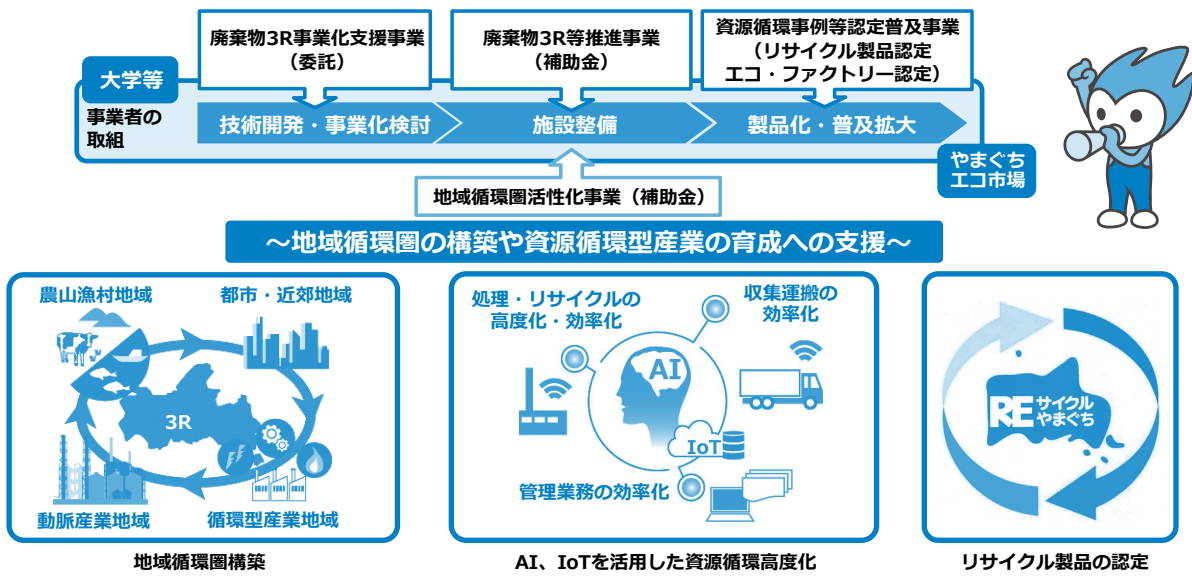
- ・人と自然との共生等に配慮しながら、関係事業者等の連携による県内の産業特性を活用した地域循環圏の構築を支援

◆資源循環型産業の育成支援

- ・事業者・大学・研究機関等の連携により、廃棄物の3R等の事業化に必要な技術、施設・設備の開発や研究の支援・促進
- ・AI、IoT等の新技术を搭載した高効率な施設や環境に配慮した施設の導入促進

◆エコ・ファクトリーやリサイクル製品の認定拡大

- ・公共工事等におけるリサイクル製品の利用拡大による地産地消の推進



2 関連する主な目標・取組指標

名称	現状 (H30)	目標 (R7)
産業廃棄物総排出量	7,941千トン	8,110千トン
産業廃棄物のリサイクル率	54.5%	56%
エコ・ファクトリーの認定事業所数 (累計)	74事業所 ^{※1}	100事業所
山口県認定リサイクル製品数 (累計)	485製品 ^{※1}	570製品
バイオマス (林地残材) 利用量	54,560トン ^{※1}	60,000トン
家畜排せつ物に由来する堆肥量	215千トン ^{※1}	241千トン ^{※2}

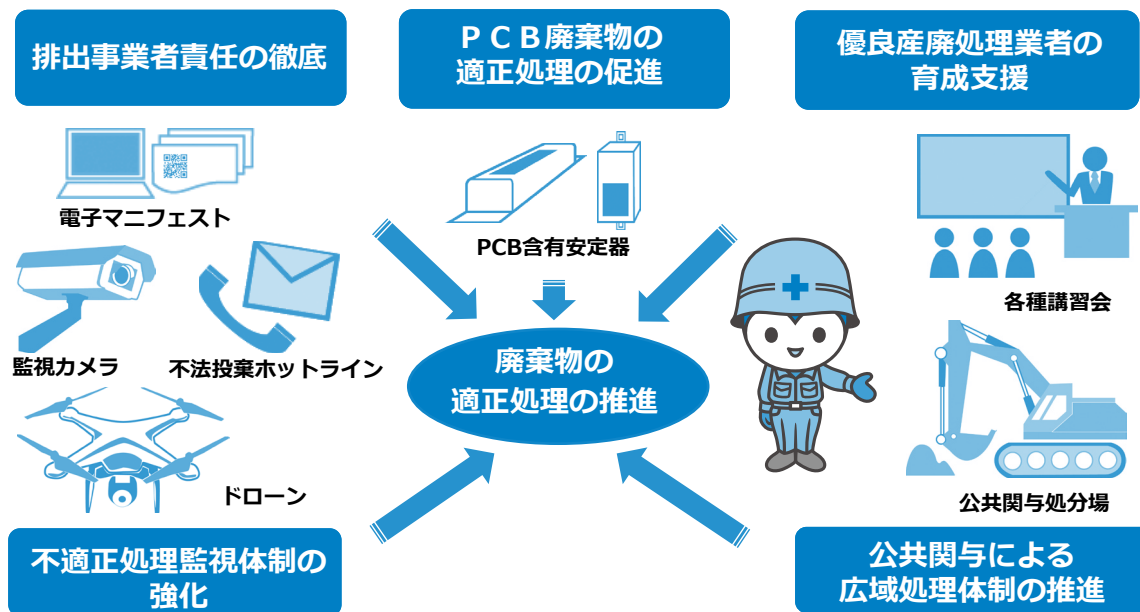
※1) R元年度実績 ※2) R12年度目標

プロジェクト3 廃棄物の適正処理の推進

廃棄物の適正処理を進めるため、PCB廃棄物の適正処理の促進や優良産廃処理業者の育成支援、不適正処理監視体制の強化、公共関与による広域処理体制の推進を展開します。

1 具体的な取組

- ◆排出事業者責任の徹底
 - ・排出事業者のコンプライアンスの精神を醸成させ、適正処理を一層推進するため、講習会や電子マニフェストの普及に係る啓発等を実施
- ◆PCB廃棄物の適正処理の促進
 - ・PCBを含有する可能性がある機器に対する分析費用補助、保管状況に関する調査、保管者に対する指導等を実施し、PCB廃棄物の適正処理を推進
- ◆優良産廃処理業者の育成支援
 - ・講習会等による育成支援や、優良産廃処理業者に対する優遇措置等の実施
- ◆不適正処理監視体制の強化
 - ・不適正処理の早期発見・早期対応
- ◆公共関与による広域処理体制の推進
 - ・広域最終処分場による適正処理体制の確保、後継処分場の整備検討



2 関連する主な目標・取組指標

名称	現状 (H30)	目標 (R7)
産業廃棄物の総排出量	7,941千トン	8,110千トン
産業廃棄物のリサイクル率	54.5%	56%
産業廃棄物の最終処分量	406千トン	400千トン
優良産廃処理業者の認定割合	7.3%*	10%

※) R元年度実績

プロジェクト4 海洋ごみ対策の充実強化

海岸管理者、民間団体、ボランティア、市町等の各主体が連携・協働し、海洋ごみの回収処理や発生抑制に取り組み、海岸等の良好な景観や環境の保全と関連産業の維持向上を図ります。

1 具体的な取組

◆多様な主体による回収・処理の促進

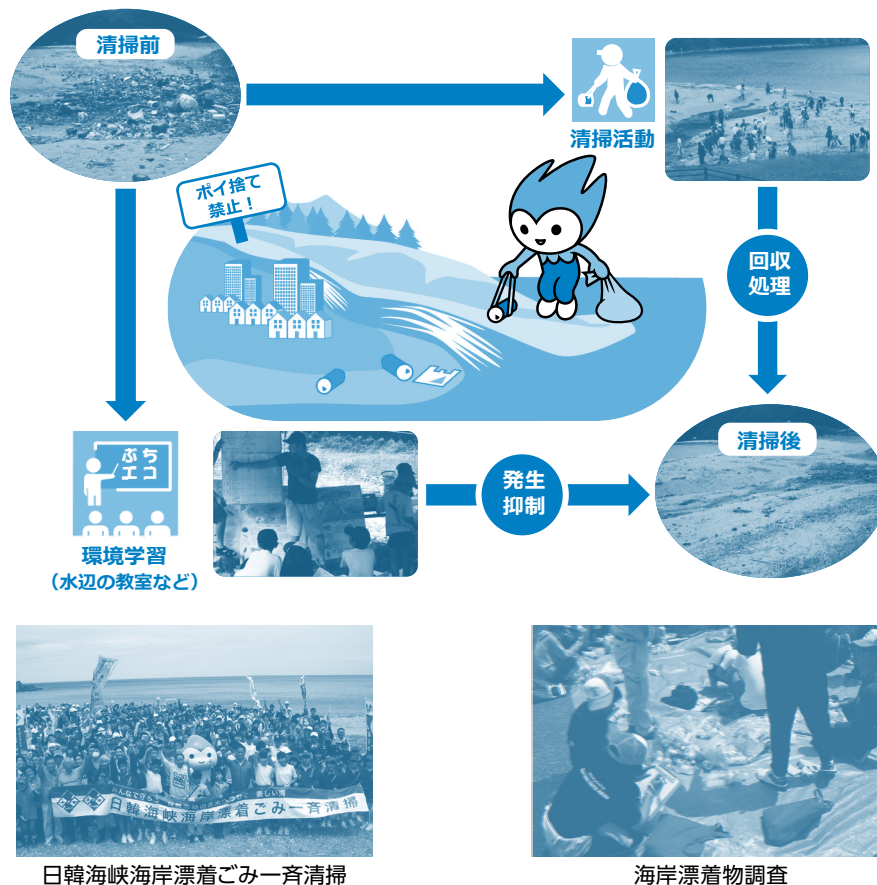
- ・漂着ごみの回収・処理を促進（海岸管理者、民間団体、ボランティア、市町等）
- ・海底・漂流ごみの回収・処理を促進（海岸管理者、漁業者、市町等）

◆内陸から沿岸に渡る流域圏の多様な主体と連携した発生抑制対策の推進

- ・日韓8県市道による漂着ごみの一斉清掃期間を設定し、発生抑制等を促進
- ・流域圏の多様な主体と連携し、海洋プラスチックごみの発生抑制対策を推進
- ・水産振興や地域活性化等も見据えた幅広い視点による普及啓発を実施

◆推進体制の運営

- ・山口県海岸漂着物対策推進協議会を中心とした情報共有と実践活動を展開



日韓海峡海岸漂着ごみ一斉清掃

海岸漂着物調査

2 関連する主な目標・取組指標

名称	現状 (H30)	目標 (R7)
河川・海岸清掃活動参加人数	116,549人	140,000人
環境学習参加人数	74,581人	85,000人